

平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 一樹
		全体計画						経費区分		-		内線	3628
事務事業名	4325 体育団体等助成事業												
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04022000 スポーツ活動の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費											
	事業	030000 体育団体等助成事業											
事業目的						事業概要・効果							
体育団体の活動を支援し、社会体育の振興に努める						須坂市体育協会を通して協会に加盟する各種スポーツの競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図る。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
須坂市体育協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図った。	須坂市体育協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図る。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
須坂市体育協会を通して協会に加盟する各種スポーツ競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、社会体育の振興を図る。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		12,573	12,673
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,573	12,673
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	721.9	721.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	721.9	721.9
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,294.9	13,394.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	5,929	須坂市体育協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,644	須坂市体育協会に対する大会開催等補助金など
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	6,029	須坂市体育協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,644	須坂市体育協会に対する大会開催等補助金など
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	アマチュアスポーツの振興を図るためには欠かせない。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	様々な大会が開催され、多くの選手が参加している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	体協加盟団体の監査を行い、適切な運営を確認している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

体育協会への補助を通じて各種大会が開催され、市民がスポーツに参加するモチベーションも高まり、アマチュアスポーツの振興が図れた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
体育協会の育成に努め、アマチュアスポーツの振興を図る。		生涯スポーツ振興のため、体育協会への委託事業を通じ、競技力向上やスポーツ教室の開催などによりスポーツに親しむ機会が充実が図られた。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	